

# 決済動向

— 平成7年9月 —

(平成7年11月10日)

## 1. 日本銀行における決済関連計数

9月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比 $\Delta$ 2.7%）、金額ベースでは328.2兆円（同+0.1%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は306.7兆円（前年比 $\Delta$ 0.1%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は14.6兆円（同0.0%）となった。

9月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.8万件（前年比+52.2%）、金額ベースで126.5兆円（同+53.5%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.3万件（前年比+21.7%）、金額ベースで215.8兆円（同+21.1%）となった。

9月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで45.2万件（前年比 $\Delta$ 1.7%）、金額ベースで5.8兆円（同+30.3%）となった。

9月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.2兆円（前年比+6.6%）、支払高7.2兆円（同+7.9%）となった。

## 2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、9月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは39.7万枚（前年比 $\Delta$ 14.3%）、金額ベースでは5.8兆円（同 $\Delta$ 38.2%）となった。

9月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは362.3万件（前年比+3.1%）、金額ベースでは8.7兆円（同+8.3%）となった。

9月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは4.5万件（前年比+58.3%）、金額ベースでは37.1兆円（同+44.2%）となった。

## 3. その他

9月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は11.6万契約（前年比 $\Delta$ 6.1%）、月末の建玉数量は106.0万契約（同 $\Delta$ 11.7%）となった。

8月、9月のS W I F T総送信件数（本邦分、月中合計）は、それぞれ225.1万件（前年比+18.9%）、217.2万件（同+18.3%）となった。

(信用機構局)